

行事名	第34回近畿ブロック搬出訓練		ハイキングコース
会場	和歌山県 さんさんセンター 多目的ホール (和歌山市直川)		
日時	2013年4月7日(日) 9時~15時	天候	曇り
参加者	男性：中島貞夫 丸山敏文 2名 近畿各地の労山会員130名が集まって(和歌山、大阪、兵庫、奈良、京都)行われた。京都からは20名の参加		



報告

ハイキングのセルフレスキューを目的に小冊子に基づいて説明があった。限られた時間にまとめるために、救急セットの明細、三角巾を使った手当て方法と、人による事故者の移動、ザック3つとストックを利用した搬送、ザックと雨具を使って担ぐ方法が説明され、実際に作って移動の訓練をした。

其の後、スリング(シュリング)を使って簡易チェストハーネス、ハーネスの作り方やカラビナとスリングを使うバックマン・ノットによる急傾斜地の通過の練習をした。(プルージックでは止まらない時がある)



最近の事故報告について

(東京本部より担当者が参加されて発表された)

今年の事故報告数は昨年より多く、特に62歳近辺の女性がめだっているとのこと。事故の原因は転倒によるもので、歩き始めて10分くらいでの転倒が多いのは、休憩をすれば心肺は楽になるが足は休んでいる間に筋肉のバランスがくずれてしまい足がふらつくようになるということです。(長い時間の休憩は逆効果になる)

今回の訓練の結果は後日機会があれば説明・実施したいと思います。

また京都労山の搬出訓練も6月23日にあるので、多くの会員が参加して勉強してください。

